

平成30年第19週 県中保健福祉事務所感染症レター

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第19週	第18週	第19週		第18週		第19週		第18週		第19週		第18週		第19週		第18週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	84	148	11	10	5	20	4	2	5	8	0	3	0	12	7	5	0	0
咽頭結膜熱	33	17	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	116	82	9	1	1	0	5	0	0	0	0	0	0	4	1	1	0	0
感染性胃腸炎	299	114	64	26	4	9	57	14	0	0	0	6	0	2	7	6	4	7
水痘	14	36	2	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手足口病	15	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	35	24	6	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0
ヘルパンギーナ	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	16	7	3	3	0	1	2	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0
RSウイルス感染症	33	41	6	2	4	1	6	1	2	0	0	1	0	1	0	0	2	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	25	10	0	10	0	5	0	8	0	5	0	0	0	0	2	0	0	0

※平成30年1月1日より百日咳が全数把握疾患となりました。また、風しんの届出が「診断後7日以内」から「診断後直ちに」と変更になりました。  
※平成30年5月1日より急性弛緩性麻痺が全数把握疾患となりました。

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

〈RSウイルス感染症の小流行が続いています〉

飛沫感染対策としてマスク着用や咳エチケット、接触感染対策として手洗いや手指衛生といった基本的な対策を徹底することが必要です。

〈感染性胃腸炎の報告が増えています〉

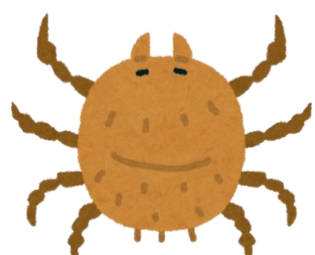
須賀川市を中心に報告が増えています。吐物やオムツの処理は適切に行ってください。処理後の手洗いも十分に実施してください。

つつが虫病に注意

第19週に県中管内でつつが虫病の発生報告が2件あり、今年に入ってから県内では6件の発生報告がありました。福島県は全国有数のつつが虫病発生地域です。これから暖かくなり、旅行やレジャー等外で過ごす機会が増えてくるかと思えます。つつが虫病について知り、感染を予防していきましょう。

〇つつが虫病とは

- 病原微生物を保有するツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に刺された後、1~2週間後に発症する感染症です。人から人には感染しません。
- 予防できるワクチンはありません。ツツガムシに刺されないように予防することが重要です。
- ツツガムシは非常に小さく肉眼ではほとんど見えません。刺されたときの痛みもほとんどないと言われています。
- つつが虫病の原因となる微生物を保有するツツガムシは0.1~1%程度と考えられています。ツツガムシに刺されたからと言って、必ずつつが虫病になると言うわけではありません。
- 全国ではほぼ毎年、死亡例も報告されています。治療は適切な抗菌薬を投与することです。
- 感染症法の全数把握疾患として4類感染症に指定されています。診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届出なければなりません。



〇つつが虫の症状

- 主要3徴候：80%以上の方でみられる症状  
①発熱 ②発疹 ③刺し口
- その他の症状  
全身倦怠感、頭痛、リンパ節腫脹



〇ツツガムシに刺されないためには

- ツツガムシの主な生息地は田畑、山林、河川敷、草原です。
- 生息地に出かけるときは、サンダル、短パン等の肌が露出するような服装は避けましょう。
- 田畑や草むらに直接腰をおろしたり、脱いだジャンパーや服を置かないようにしましょう。
- 衣服等にツツガムシが入り込んでいる可能性もあるため、帰宅後はシャワーを浴びるなど体を洗い流し、着替えを行いましょう。

